

【理事会議事録】

日　時：2010年1月9日（土）午後1時～5時半
場　所：八重洲ホール4F　412会議室
出席者：國枝、渡邊、竹田、高田、田代、田村、堂谷、児玉、本間、半田、小川、藤沢、小嵐、藤本（以上14名）
欠席者：柴田
また、宮下事務長が出席した。
議事に先立って議長と署名人の確認がなされた。
議　長：國枝秀世
署名人：高田唯史、竹田洋一

1. 報告
1-1. 前回議事録の確認
資料1に基づいて國枝理事長より前回（2009年9月14日）の理事会議事録が報告・確認された。
1-2. 資料準備等方針の確認
まず審議に先立ち、竹田庶務理事の説明をもとに、今後の事前の資料準備方針、報告事項と議決事項の区別、などについて話し合った。今回は資料の事前送付は見送ったが、次回からは（全部でなくとも間に合う限りのものを）やはり前もって送って目を通してもらうことになった。
1-3. 新入会員等報告
竹田庶務理事から資料2に基づいて、前回からこれまでに入会した新入会員（ならびに正⇄準の移動者と退会者）がまとめて報告された。入会承認はすでに理事会メンバー内のメール上での審議で完了している。会員総数は約3,000名（そのうち正会員は約1,700名）でほぼ一定のレベルを保っている。
1-4. 2009年度監査報告
竹田庶務理事より、資料3に基づき2010年1月5日に行われた2009年度の事業報告書と決算報告書の監事による監査が特に問題なく正当と承認されたことが報告された。この監査では、事業報告書内の数力所が「個人の感情のこもったような表現で報告書として不適当ではないか」と指摘されたので、これは修正してある。
1-5. 事業仕分けに対する声明文について
國枝理事長から資料4に基づき、昨年11月下旬に我が国の研究教育の体制と予算が民主党政権下の行政刷新会議により事業仕分けを受け、もしそれが性急に執行されれば多くの学術分野が深刻な危機に陥りかねない状況に鑑み、日本天文学会からも「事業仕分けと科学研究の将来について」と題する緊急声明文を出したことが報告された。また今回この仕分けで結果的にどのような予算的な影響があったかについても意見の交換があった。
1-6. 今年度の年会準備状況について
本年2010年の年会の準備状況の報告が小嵐（広島大）、藤本（金沢大）の各開催地理事りなされた。いずれも問題なく順調に進んでいるとのこと。2010年春季年会（広島大：3/24-27、記者会見は3/23、講演会は3/28）の公開講演会の講師4名（観山正見、大杉節、深沢泰司、寺田健太郎の各氏）も決定した。2010年秋季年会（金沢大）は日程が確定した（9/21が記者会見、年会は9/22-24の三日間、9/25が講演会）。
1-7. 事業担当理事からの近況報告
半田教育理事からは講師派遣プロジェクトの立て直しをどのようにすべきかについて、秋の天文教育フォーラムでの議論を参考に地元の科学館との連帯を考慮した展開を検討していることが述べられた。
本間年会理事からは配付資料に沿って年会参加資格についての規定変更の議論（正会員と準会員との間で差を設ける、年会での講演を正会員と準会員に限る、日本天文学会に準ずる他学会の会員には講演を認めるなど）が実行委員会内で進められていることの報告があり、それに対して議論がなされた。他学会の様子や現在の規定になった過去の経緯などを調べるとともに今後検討を続ける。
児玉月報理事は、最近月報の目次にかかなり大きなミスがあったことを機にその再発を防ぐべく校正体制の充実を図っていること、昨年の事業仕分けの際には編集部で迅速に対応してタイムリーに声明文を掲載できたこと、今年度の特集の予定（あかり、ブラックホール時空、すばる十周年記念歴代所長エッセイ、フェルミ）、について報告した。
堂谷PASJ理事はPASJ関係の最近の報告を行った（資料11）。編集顧問会議を仕切る幹事が桜井氏になったこと、今年度からの編集委員の交代（横山央明氏→永田伸一氏）、紙版投稿受付停止、紙版発送経費の節約、supplement論文の正式受付、国際化・電子化に向けた対応、など。
さらに竹田庶務理事より会員管理関係についての報告があった（新年度入会分から入会審査の方式が変わったこと、予定していたWebからのオンライン入会申請は諸般の事情により運用開始が数カ月遅れて春先になること）。

1-8. 事務所職員関連報告
宮下事務長より資料5に基づき、2010年度の事務所職員十名の陣容、職員に関する法的な整備（労働保険加入、過半数代表者の選出、時間外労働協定、就業規則など）を行ったこと、超過勤務に対する制限と時間管理の方針、が説明された。

2. 議題
2-1. 2009年度事業報告書案
竹田庶務理事より資料6に基づいて2009年度の事業報告案について説明があり了承された。但し、本学会が共催・後援・協賛したシンポジウムや企画についても具体的名称を掲載すべきだとの指摘があり、対応することになった。
2-2. 2009年度決算報告書案
田代会計理事より資料7に基づいて2009年度の決算報告案（一般会計と特別会計）についての説明があり了承された。報告書に予算額の最近の変化が一目でわかるようなグラフが入っているともっとわかりやすくなるとの提言もあった。
2-3. 2010年春季総会議題等
竹田庶務理事より資料8に基づき、春季総会の議題（事業報告、決算報告、監査報告、理事長公選制）と（報告事業仕分けに対する声明、会員名簿作成方針、その他）の案の説明があった。報告に世界天文年総括関係も加えることも提言されて了承された。
2-4. 理事長公選制について
國枝理事長より、来年度からの理事長選任に向けて本年度に選挙を実施する予定で進めている、理事長公選制度における選挙施行細則の予定案（資料9）が紹介された。すでに理事長・副理事長を中心にこれまでに検討を重ねられており、メールでも事前に回覧されているので、基本的な内容自体の変更は要しないものの、細かい文言の面でいくつか意見が出されたのでそれらを取り入れて評議員会に回すことで了承された。
2-5. 会員名簿作成方針について
竹田庶務理事より資料10に基づき、本年秋に発行する予定の会員名簿（2年に一度作成）の作成方針案が説明された。議論の後、会員アンケートで最多数の支持を得たものに『希望に応じて所属の具体的な名称を業種の一般的な名称に変更しても良い』という追加オプションを付加する案が採択された。つまり会員種別・番号と氏名と所属は必須で掲載（ただ所属は希望に応じて一般的職種名に書き換え可）。他の4項目は会員の意志で掲載か非掲載かを選択できるが、デフォルト（問い合わせに対して無回答の場合の措置）は、メールアドレスと所属先電話番号は掲載で自宅住所と自宅電話番号は非掲載。
2-6. PASJの紙版配布停止オプション・電子版フリーアクセス権提供について
資料11に沿って、堂谷PASJ理事からPASJに関して目下検討されている二つの事案が説明された。一つは、正会員に対する紙版の冊子の配布を希望者（つまり「電子版にアクセスできれば十分で、紙版は不要なのでむしろ送ってほしくない」という意向の人）に対しては停止できるオプションを設けること（ただし紙版配布の有無にかかわらず会費は変わらない）。もう一つは、現在（最新号を除き）出版後2年間はアクセス制限が設けられているPASJ電子版に関して、論文の著者が特に希望すれば追加料金（数万円～十万円のオーダー）を払うことで自分の論文の電子版ファイルに対しては最初からフリーアクセスにする、というものである。前者に対しては「会員の希望に応じていつでも自由に停止や復活ができるようにすること」を前提にして承認された。今後、評議員会での承認を待って実施に移される。
一方後者については、金額の根拠が明確でないこと、広範に採用された場合の弊害についても考慮が必要なこと等が指摘されたので、慎重に更に検討を続けることになった。
2-7. 巡回展延長に向けて
半田教育理事より、昨年4月から東京～仙台～新潟～名古屋～大阪（現在開催中）と国内を巡回している世界天文年の企画展「ガリレオから400年、宇宙の謎を解き明かす」は好評を博しているので今年一杯は継続したいとの説明があり、次の防府市（科学館ソラール）での開催までは決まっているがそれ以後の予定は未定なので全国の科学館に積極的に呼びかけたいことが提案され、了承された。また、展示物も時間が経つにつれて傷んでくるので、恒久的な落着き先のこともそろそろ考えておくべきとの意見も出された。
2-8. 賛助会員への見返りについて
賛助会員はその会費が年会に参加する学生会員への旅費の補助として有効に利用されているので会としても感謝すべきであるが、現在はあまりこれといった見返りが提供されていない現状に鑑み、広告の割引などの特典を検討してもいいのではないかとの提案が資料13に基づき半田教育理事より出された。意見を交換した結果、まずは天文月報誌上や旅費補助支給の際などにこれら賛助会員の名前をもっと頻繁に表に出して、感謝の意を積極的に表明することから実行に移そうという方針で意見がまとまった。これを受けて、具体的な対応を本間年会担当理事と児玉月報担当理事で検討することになった。
2-9. 次期理事・委員選出に向けて
竹田庶務理事より資料14を基に、今年度末で現在の理事・委員の任期が切れること、次期の任に当たる方は6月の理事会・評議員会を経て9月の総会で承認されること、したがってできれば春頃には人選がほぼ固まっているのが望ましいので各自探す準備をそろそろ始めてほしいこと、が伝えられた。現在の理事の数（15名）は定款で定められている人数（10-15名）の上限一杯で、新たな役職の理事を追加したくてもできない状況なので、将来的には理事の陣容を再構成すべきではないかとの意見も出た。

【次回の理事会】
次回の理事会は春季年会の会期中3月26日（第三日目）の昼時に行われる。

【資料】
資料1.前回理事会議事録
資料2.会員新規加入者、退会者等リスト
資料3.2009年度監査報告
資料4.事業仕分けと科学研究の将来について：日本天文学会からの声明
資料5.日本天文学会事務所職員の陣容・職務と事務所諸問題整理
資料6.2009年度事業報告案
資料7.2009年度決算報告案
資料8.2010年春季定期総会議題等案
資料9.理事長公選制度における選挙施行細則案
資料10.会員名簿作成方針について
資料11.PASJ編集顧問・編集委員会議からの報告および議案
資料13.賛助会員・広告関連資料
資料14.定款抜粋・現役員リスト
+ 当日配付資料：年会理事報告
【注：資料12は都合によりキャンセル】
2010年1月9日
議　長：國枝秀世
署名人：高田唯史
署名人：竹田洋一